2011年10月：JaCVAM活動マンスリーレポート

NO.	項　　目	記　載　内　容
雑　誌		
1	著者名	小島　肇
	題名	第8回国際動物実験代替法会議参加記
	雑誌名、巻(号)、ページ、(年)	COSME　TECH　JAPAN, 1 (5) 29-33　(2011)
国際学会		
1	発表者名	小島　肇
	演題名(和訳)	Non-animal methods and strategies for Rabbies Vacine Potnecy Testing (狂犬病ワクチン力価試験の非動物試験及び戦略)
	学会名, 発表年月及び場所	International Workshop on Alternative Methods for Human and Veterinary Rabies Vaccine Testing: State of the Sceince and pPlanning the Way Forward (ヒトおよび獣医学における狂犬病ワクチン試験の動物実験代替法に関する国際ワークショップ),平成23年10月11-13日、エイムス(アイオワ、米国)
レギュラトリーサイエンス関連国際会議報告		
1	参加者名	小島　肇
	会議名(和訳)	OECD Eye irritation tesitng Expert meeting(OECD眼刺激性試験専門家会議)
	開催場所, 年月日	イスプラ(イタリア)、平成23年9月29-30日
	会議内容	OECD 眼刺激性試験テストガイドライン405の改定、新たなガイドラインとして提案されている試験法の作用機構や限界についての討論がなされた。
2	参加者名	小島　肇、関野祐子
	会議名(和訳)	The International Cooperation on Alternative Test Methods (ICATM)　coordination　meeting(代替法試験協力国際会議調整会議)
	開催場所, 年月日	イスプラ(イタリア)、平成23年10月3日
	会議内容	各国の動物実験代替法バリデーションおよび評価、行政的な受入れに関する進捗報告がなされた。
3	参加者名	小島　肇、関野祐子
	会議名(和訳)	35th ESAC meeting(欧州動物実験代替法評価センター科学諮問会議 第35回会議)
	開催場所, 年月日	イスプラ(イタリア)、平成23年10月4-5日
	会議内容	急性経口投与毒性試験を細胞毒性試験で置き換えるにあたり、適用限界などを巡る議論がなされ、極めて限定的な範囲でLD50がないことを確認する方法として欧州の専門家、行政官が本試験法を承認した。